

広島県合同輸血療法委員会報告書

<第2回 平成24年度>

平成25年3月

広島県合同輸血療法委員会
広島県健康福祉局
広島県赤十字血液センター

はじめに

～輸血医療の標準化に向けて～

広島県合同輸血療法委員会の活動は2年目となりました。委員会は県内の主要な医療機関、行政、赤十字血液センター、学識経験者で構成し、本県の輸血療法の標準化に向けて調査・啓発・支援を行っています。

輸血療法は治療法の一つですから、有効性、安全性そして利便性が求められますが、主に献血者より提供された血液を使用するので、倫理性や適正性が求められます。適正性はその時代の標準的な医療を反映したもので、有識者の提言による「輸血療法の実施に関する指針」と「血液製剤の使用指針」が厚生省から提示されています。輸血療法を行う医療機関は、この指針に準拠することが求められます。

今年度の委員会でも昨年に引き続き、研修会の開催、各病院の取り組みの報告、県内の輸血療法の実態調査を行いました。今年度は新たな試みとして輸血専門家による病院への相談事業を始めました。これは応募して下さった病院を視察した上で、チェックポイントに従って現場を見せていただき、成果を評価し、問題点を見つけ、悩みを聞き、スタッフの方たちと話し合いながら助言をさせて頂く事業です。次年度も継続していく予定です。

この研究事業は、厚生労働省平成24年度血液製剤使用適正化方策調査研究事業による研究補助を受けました。本報告書の作成にあたって調査や執筆に当たっていただいた諸先生方、様々な事務を勤めて下さった薬務課と血液センターのスタッフの皆さまにお礼を申し上げます。

2013年3月

広島県合同輸血療法委員会 委員長

高田 昇（広島文化学園大学教授）

目 次

第Ⅰ部 第2回広島県合同輸血療法委員会（H24.7.28）・・・・・・・・・・ 1

委員会設置要項

平成23年度事業の報告（輸血療法に関するアンケート調査）

平成24年度事業の検討

（特別講演）「旭川医科大学病院における輸血療法委員会活動
～血液製剤適正使用方針の策定とその効果～」

第Ⅱ部 広島県合同輸血療法研修会（H25.2.2）・・・・・・・・・・ 71

第1部）「輸血療法に関するアンケート」調査報告

第2部）医療機関からの事例発表

1．「広大病院の輸血の現状」

2．「当院における輸血療法委員会の活動および現状報告」

3．「当院での輸血療法委員会と輸血の現状」

第3部）特別講演「危機的出血への対応ガイドライン」を生かすために

第Ⅲ部 今年度事業と次年度以降の課題・・・・・・・・・・ 119

1．委員会事業の概要

県内医療機関における輸血療法の推進に向けた相談応需

2．広島県内の医療機関を対象とした「輸血療法に関する実態調査」調査報告

3．今後の課題

<参考資料 これまでの取組み>

参考1 平成20年度における「血液製剤使用適正化普及事業」の

まとめと展望について・・・・・・・・・・ 218

参考2 広島県血液製剤使用に係る懇談会開催状況・・・・・・・・・・ 220

参考3 広島県輸血懇話会の開催状況・・・・・・・・・・ 221

参考4 広島県合同輸血療法委員会開催状況（H22～）・・・・・・・・ 222